

---

## 第2回綾部市公共施設マネジメントに関する座談会 議事概要

日時 : 平成27年10月9日(金) 18:30~20:30  
場所 : 綾部市役所本庁舎3階 第一委員会室  
委員 : 舞鶴工業高等専門学校 尾上教授  
京都府女性の船「ステップあけぼの」綾部支部 梅原支部長  
綾部市自治会連合会 川端会長  
綾部市スポーツ少年団本部 志賀本部長  
綾部商工会議所女性会 牧会長  
一般社団法人綾部青年会議所 南田理事長  
綾部市 上原副市長  
【欠席】 綾部ローターアクトクラブ 佐藤会長  
オブザーバー 日本政策投資銀行地域企画部 遠藤課長  
事務局 高橋企画財政部長、岩本財政課長、鎌部計画担当長、村上主任、市村主任  
傍聴者 なし

### 1. 挨拶等

(上原座長) 前回の座談会から1か月経った。今回の座談会から公共施設等総合管理計画(案)に関し、本格的にご意見を頂きたく、宜しくお願い致したい。

#### ■事務局〔岩本課長〕から、前回座談会の概要の振り返り説明

- － 施設保有量の最適化、適正配置が必要
- － 計画的保全による長寿命化が必要
- － まちづくりと連動したマネジメントの推進が必要
- － 長寿命化と施設保有量(19.5万㎡)の約25%削減が目標

(事務局:岩本課長) 本日は、用途別分類ごとに事務局から施設概要を説明させて頂く。その上でご意見を頂戴したい。

(上原座長) 市民生活や市民活動にどのくらいの影響が出るかなど、市民の目線から見た公共施設のあり方の検討にベースを置く必要がある。

これにあわせて財政問題も重要である。施設を作るときは国や府の補助金、地方債、地方交付税、これ全て税金。足りない部分は市民の税金。利用料収入で維持管理経費を賄えない施設が殆ど。また、市民全体が利用する施設、特定の地域で利用されている施設など、多様である。各施設の特性を踏まえた検討が必要。

## 2. 綾部市公共施設等総合管理計画（案）について（用途別課題と方向性）

■事務局〔鎌部担当長〕から、総合管理計画（案）により、各施設の施設概要を説明。パワーポイントにより、主な施設の状況（位置や写真）を説明。今後の方向性を説明。

### ①市民文化系施設

#### (1) 集会施設

#### (2) 文化施設

（上原座長）統合、機能の合併、地域限定の施設については移管・譲渡。公民館は計画的に補修をして継続利用。

（尾上委員）地区公民館は残していこうとのご説明だった。一方で（集会所の）移管・譲渡についてはどのような進め方を考えているか。また、宮代コミュニティセンターに関し、機能が同じものは統合するという話だったが、移転・統合の形があるなら、お教え頂きたい。

（上原座長）集会所については、これまでも無償で（地域への）移管・譲渡を進めてきた経緯がある。公共施設を無償譲渡する場合には議会の議決が必要であり、議会の議決を頂きながら譲渡してきた。集会所の場合、施設の利用者は全市民ではなく、その地域の方々に限られる。ただし、譲渡には一定の協議が必要。

（事務局：岩本課長）市民センターには体育館機能、ホール機能、団体の事務室機能がある。今回考えているのは、別のところにある武道館も耐震改修が必要、二つの施設を一つにまとめていく。ホール機能については京都府が所有する総合教育センターのホールを活用していく。体育館と武道館の機能は1か所に集約する計画である。これらによりトイレ、床等の共用部の床面積を縮小することが可能。周囲に代替機能がないかも検討していく。

（川端委員）集会所とは自治会が管理している施設なのか。

（事務局：岩本課長）市内に190数団体ある自治会組織の施設は地元所有、地元管理の施設。ここであげている集会所（26か所）は、管理は地元のものもあるが、全て市所有の施設である。農林業振興など様々な施策に沿って整備された。施設ごとに様々な経緯から整備されている。

（上原座長）旧同和対策事業として建設された集会所が多い。

（川端委員）ほとんどの集会所が自治会所有となっている反面、26か所の集会所だけが市所有というのはギャップがある。できる限り地域に移管・譲渡した方が良い。

（上原座長）市としては、地域の意向等を調整し、移管・譲渡の方向性で進めたい。

（志賀委員）私は高津に住んでいるが、高津コミュニティセンターは地元の強い要望から整備頂いた施設である。現在、集会施設と多目的ホール、グラウンドは、高津町自治会が指定管理者として施設管理を行っている。なお、高津町にはコミュニティセンターの他に高津公会堂がある。

これまではどの地域にも公民館があり、最寄りの郷単位で集会所も持っていた。しかし、世帯数が減少する中で、今の世代の方々が解体・更地化し、必要な時に高津公会堂を利用するといった答えを出す時代に入ってきた。高津コミュニティセンターは、市から維持管理費をもらい、2名の職員を配置し、週休2日勤務の体制でお世話になっている。一方、僅か375戸の地区に施設が譲渡されても、規模的に難しい。高津地区と同様、地域への施設譲渡が地域にとって大きな負担になり、地域で施設を持ちきれなくなってしまう懸念もある。このような点を地元側で判断できるものだろうか…。

（上原座長）高津コミュニティセンターには、体育館とグラウンドも備わっているため、他の施設よりも規模が大きい。やはり施設毎に考えていかねばならない。施設によっては市内に196ある「公会堂」と同レベルのものもある。

現在、市が負担している金額は、建物保険料、電気・水道等の基本料金程度。地域に移管・譲渡がなされたとしても、経費的には負担にならない施設が多い。

## ②社会教育系施設

### (1) 図書館

### (2) 博物館等

(牧委員) 図書館はよく利用する公共施設。一方、綾部市に1つしかない施設のため、遠方の市民も利用しているはず。新作の本を借りたくても、なかなか回ってこないが、職員の対応や雰囲気が高く、静かで非常に良い施設だ。

(梅原委員) 図書館は良い施設だが、人がいけば通りにくく、狭いので早めに改築頂きたい。(昨年オープンした) 福知山市立図書館は、職員の対応はともかくとしても、新しく良かった。一方、綾部市資料館の入口は、構造的なのか、暗くて雰囲気が悪い。

(上原座長) 資料収蔵の関係で暗くする必要があるのだろうか。

(志賀委員) 展示スペースは暗くする必要があるのかもしれないが、資料館の入口はオープンさ(開放感)があっても良い。

(南田委員) 私市円山古墳公園には一度くらいしか行ったことがないのだが、市民の方はどのくらい利用されているのだろうか。小中学校での利用の有無、市外から来られる方など、利用状況の把握は難しいものだろうか。管理にはお金がかかってくる中で、公園の駐車場やトイレは比較利用されているにも関わらず、古墳公園が利用されていないのはもったいない。円山古墳に目が向くような何らか工夫できればと思う。

(上原座長) 頂上付近まで登ることができる裏道もあるのだが、災害のため閉鎖している。11月3日には古墳まつりも開催される。ぜひお運び頂きたい。

(尾上委員) 資料館で約8千人、天文館で約1万人という利用者数について、どのように捉えているか。また、両施設は有料の施設だろうが、一般に市の施設はびっくりするほど利用料が安い。この機会に利用料に対する考え方を教えてほしい。

(事務局：岩本課長) 天文館は有料施設。資料館は通常は無料だが特別展の際には有料。今の利用人数が多いか少ないか、施設の維持管理に見合った利用料が適正かどうかというあたりは、今後議論が必要だと考えている。天文館、資料館はともに、開館依頼、年数がかなり経っている。両施設についても、施設の魅力をあげることを考えていかねばならないと認識している。なお、公共施設の利用料全般について、消費税の引き上げにより、今の利用料水準がコストに見合っているか、近いうちに見直し作業を行う予定。

## ③スポーツ・レクリエーション系施設

### (1) スポーツ施設

(尾上委員) 総合運動公園や武道館では、利用料金が発生しているはず。利用料金の見直しについては、座談会として決定するわけではないが、面積を減らすという話とともに、(利用料収入とコストの) バランスをみたいと思う。利用料を上げると利用者が減ってしまうのは市としてはまずいということもあるが、このような一文を入れるか否かは大きな論点。

(事務局：岩本課長) 平成11年が直近の見直し時期。

(上原座長) やはり相当に時間が経っている。消費税率の増税と合わせて見直すことを検討中。他方、利用料があまりにも高くなりすぎると問題だ。

野球場の利用料は 18 人で割るといくらからいになるだろうか。青少年には一定の優遇措置を講じている。コストをどのくらい利用料収入で賄えているかといった点をよく見なければならぬ。

(事務局：岩本課長) 計画書(案)4頁で、使用料や料金体系の見直しについて謳っている。

(志賀委員) 綾部市のスポーツ施設利用料金水準は正直安い。有り難いのでぜひ継続頂きたいというのが本音。大人が 18 人で野球場を使っても痛くも痒くもない。テニスならば 2 人か 4 人でコートを使うので割高かもしれないが。

なお、半日単位での利用は長い。1 時間単位など、より細かく利用時間帯を刻んで頂きたいとのニーズがある。

(上原座長) 各地区のグラウンドについて、地域ではどのように捉えているか。

(川端委員) 土日は中学生の野球が使っている。管理は自治会連合会が受託しているが、再委託し、少額ながら持ち出し(赤字)となっているのが実情。自治会連合会としてもあれが無いと困るので、やむを得ないと思っている。

(志賀委員・南田委員) 土日利用の殆どが野球だと思う。グラウンドゴルフとうまく棲み分けている。西部グラウンドはサッカーで利用されるケースが多い。

(牧委員) 健康志向の世の中であり、お金を出して体を鍛えることが当然になっている。健康プラザも利用料がかかるにも関わらず多数の方が利用されている。高校生までの施設利用料は無料でも良いが、それ以上の大人が使う場合には、コストに見合う利用料を支払うべきではないか。民間水準まで取る必要はないが、多少の負担をして頂いても良い。今後は高齢者も増え、市の財政も厳しくなる。健康づくりをしたい方はお金を支払ってでも活動する。利用料を上げると利用者が減るということは、さほど心配しなくても良いのでは。

(尾上委員) 料金をびっくりするくらい値上げすることは不可能だろう。それであれば、半日単位の利用枠を時間貸しにする等、施設の利用効率をあげるしかない。市が一工夫して投げかけをするのが良い。日常的な取組も記載していく必要があるのではないかと。

## (2) 観光施設・レクリエーション施設

(志賀委員) 綾部ふれあい牧場が記載されているが、将来的な勝算はある施設なのか。

(上原座長) ふれあい牧場はちょっとしたブームになっている。管理人によるブログ等でこまめな情報発信が行われるようになった結果、小さな子ども連れで賑わっている。小動物と直接触れ合えることもあり、来場者が増えている。

(志賀委員) 以久田野多目的広場とはグラウンドのことか。

(事務局：岩本課長) その通り。

(梅原委員) 君尾山キャンプ場は、私が「夏の大ジャンボリー」に参加していた頃でも、1 人では歩きにくいような雰囲気だった。そのため廃止を考えているということか。

(上原座長) ジャンボリーを主導的に取り組んでいただいた方には君尾山が良いという人もいるが、今年は旧奥上林小学校でやった。林道を通るので災害が影響する場合もあるし、野生鳥獣の心配もあることから、できればジャンボリーの場所を変えていきたい。今整理する方向で検討している。

(川端委員) 今年のジャンボリーは旧奥上林小学校の校庭で行ったが、暑さが異なり、体調を崩しかけた参加者もいた。せっかく続けてきたものをやめるわけにはいかない。どこか良い場所がないだろうかと思う。

(牧委員) あやべ温泉は商売っ気がなくて落ち着く。ひなびた感じが良いとあやべ温泉を気に入っている人も多い。

(上原座長) 京綾部ホテルでの入浴施設整備、災害時に通行止めとなり易いことなどから、中長期では利用客が減少傾向にある。

#### ④産業系施設

##### (1) 産業系施設

(尾上委員) 共同作業所の利用実態をお教え頂きたい。

(上原座長) 旧同和対策事業として各地域に作った経緯がある。現状、当初目的通りに使われている施設、全く利用されていない施設など様々だが、利用されていない施設の方が多いだろうか。農業関係は利用が多いようだ。地元との調整がついた施設は、随時市の費用で解体を進めている。今後も利用するという施設の場合、原則として建物は無償譲渡している。目的外で利用されている施設については有償で譲渡する方向である。

(梅原委員) 工業団地の交流プラザに入る駐車場からの動線は暗い。

(志賀委員) 林業センターの森林組合の事務所機能や組合長室は(施設内の)何処にあっても良いものか。

(上原座長) この施設は、市と森林組合がお金を出し合って整備した。施設は区分所有となっているので、事務所等は森林組合も一定の権利を有している。

(志賀委員) 2階に上がる階段の勾配がきつい。

#### ⑤学校教育系施設

##### (1) 学校

##### (2) 教育集会所・学習館

(川端委員) 教育集会所とは何か。

(上原座長) 旧同和対策施設で、教育集会所に児童を集めて補習を行うといった形で活用されてきた。今は学校で教育活動が行われていることもあり、他用途への転換が進んでいる。

(梅原委員) 小中一貫校との記載があるが、上林・東綾のほかにも検討が進んでいるのか。

(上原座長) 今後も小学校と中学校の機能連携は進めていく意向にあるが、施設一体型はこの2校のみ。将来、更なる児童生徒数の減少により、複式学級のような状況になれば改めて検討。

(尾上委員) 統合を進め、廃校舎の活用に関する記載がない。どのような状況か。

(上原座長) 廃校舎は旧奥上林小、旧口上林小、旧豊里西小の3つであり、里山ねっと・あやべ、黒谷和紙工芸の里、奥上林研修センターと何れも活用されている。ただし、旧奥上林小は検討が必要。

(尾上委員) 何かしらに用途転換をして利用していると。

(上原座長) それぞれ地域の人が、その施設をつぶすというのは抵抗がある。

(志賀委員) 安全安心の観点からすると、校舎が現存すること自体に疑問を感じる状態。どの旧小学校も残っている。やはり安全の面から考えると、どうかと思う。

(事務局：岩本課長) 直近で小中一貫校を整備した上林では、小学校を中学校の敷地に移転し、小学校の校舎は解体する。東綾も小中学校が隣接しているが、中学校の校舎を解体する予定。

(上原座長) 現在、廃校舎が残っている3地域は、上林や東綾とは異なり、その地域から学校がなくな

ってしまうエリアだった。

(尾上委員) 今後は、地域が校舎を守る費用を出すような心意気が必要。

(川端委員) 学校が無くなると地域の灯が消える。小中一貫教育が進められてきた。来年、私が卒業した中学校が無くなってしまうが、よくここまで持ったと思う。旧口上林小(黒谷和紙工芸の里)も、入込が増えてきたと聞いている。体育館の雨漏りや耐震の問題はあるが、地域には100~200人集まることができる建物が無い。ぜひ残して頂きたい。

### 3. その他

(遠藤氏) 今日の議論はあるべき方向性を示したものだ。委員の皆様、あるいは綾部市民のレベルが高いということだと思う。

観光施設は市民が使う施設と、市外から観光客を誘致するための施設に分かれる。観光施設以外の施設でも、特定の市民が使う施設と一般の市民が使う施設に分かれる。今日はこの点も十分に整理された議論がなされていた。今後ともこの観点を踏まえた議論が必要。

私は転勤族でもあり、様々な図書館を見てきたが、綾部市の図書館のレベルは極めて高い。市民に愛されていることもわかる。館長も思いをお持ちの素晴らしい方だった。北海道の函館市や剣淵町と並んで私の好きな図書館だ。簡易裁判所の転用施設でもあり、必ずしもハード面で優れてはいない施設だろうが、ソフト面の充実により素晴らしい公共施設となっている。このような形が今後の公共施設のあり方における一つの方向性となるのではないか。

(事務局：岩本課長) 次回座談会は10月29日(木)18時30分から。様々なご意見を頂戴したい。

(事務局：高橋部長) 本日は夜遅くまで感謝。次回も宜しくお願い致したい。

以 上